

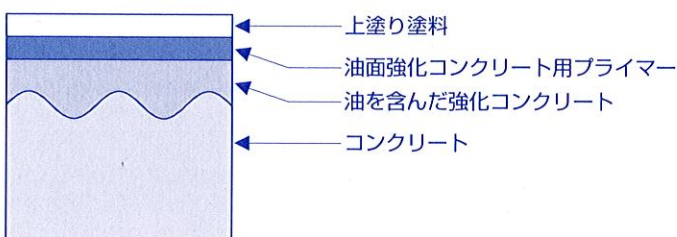
二液型ウレタン/シリコン系プライマー

油面強化コンクリート用プライマー 無鉛

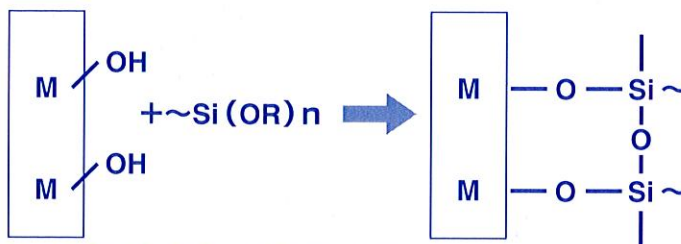
油面強化コンクリート用プライマーは、従来#500油面プライマーでは塗装できなかった、油を含んだ強化コンクリートに対して優れた付着性を発揮します。油を含んだ強化コンクリート等表面の緻密なコンクリートに対して機械研磨やエッチング処理無しで塗装でき、下地処理の手間を大幅に省くことができます。

特長

- (1) 表面の油と泥を除去するだけで強化コンクリートに対して付着が良くなります。
- (2) 機械研磨や酸処理によるエッチング処理なしで表面の緻密なコンクリート等に付着します。



油となじみが良いため、素地が油を多少含んでいても付着します。



素地の反応基と結合し、より強固に密着します。

用途

油で汚れた強化コンクリート床面

内容量・荷姿・標準塗り面積・可使用時間

●内容量・荷姿・標準塗り面積 (20kgセット)

	内容量	荷姿	塗り面積
A材	10kg	半缶	約65m ²
B材	10kg	石油缶	

●可使用時間 約3時間

(社)日本塗料工業会登録	
登録番号	A03006
ホルムアルデヒド 放散等級	F☆☆☆☆



アトミクス株式会社

塗料事業部

〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-12-1 TEL.0480-65-1233(直通) FAX.0480-65-1161
 本社 〒174-8574 東京都板橋区舟渡3-9-6 TEL.03-3969-3111(代表) FAX.03-3968-7300

油面強化コンクリート用プライマー

上塗り適正材料

塗料名	#1400	#5000・#5400	#6000	#7000	#7000+マークレス	#8500	#8500速乾
付着性	△*	△*	○*	○*	○*	○	○
塗料名	#8000	エポワン	アクアクリンU	エポクリン	タフモル	U-#90	U-100NEO
付着性	○	○	△*	△*	○	○	○

○：適

△：条件により上塗り可

*：骨材の影響で仕上がりにザラつきが出ることがあります。また大量の油がある場合プライマーとの間でフクレが出ることがあります。

施工仕様例

【油面工法】

工程	製品名	希釈量(重量%) 合成シンナーNo.2	塗布量 (Kg/m ²)	施工方法	塗装間隔 23℃(時間)
1 下地処理	マジソル	—	0.6~0.7	●素地に堆積している油泥を除去します。劣化下地を除去します。 ●マジソルを床に散布したのち、デッキブラシやポリッシャーなどで油泥の残りを洗浄します。	24以上
2 下塗り	油面強化コンクリート用プライマー	—	0.3	●A材・B材を1:1(重量比)で攪拌混合し、B材が沈澱しないようローラーで攪拌しながら塗装します。	3~24*
3 中塗り	フロアトップ#7000	20	0.2	●#7000の主剤と硬化剤を14:1(重量比)で混合した後、合成シンナーNo.2で20%希釈したのちローラー塗装します。	2以上
4 上塗り	フロアトップ#7000	20	0.2	●#7000の主剤と硬化剤を14:1(重量比)で混合した後、合成シンナーNo.2で20%希釈したのちローラー塗装します。	—

(注)1：旧塗膜が残っていると、油面強化コンクリート用プライマーの溶剤が残り、フクレの原因となります。

*上塗りが一液型塗料の場合：3時間以上5時間以内 上塗りが二液型塗料の場合：3時間以上24時間以内(塗装間隔は最短時間と最長上塗り可能時間です。)

注意事項

1. 塗装(施工)前の注意

- (1) 5℃以下の場合には、塗装を避けてください。
- (2) 降雨・降雪・高湿・高温時及びその恐れがある場合には、塗装を避けてください。
- (3) 下地調整は、塗料の付着力を決定する重要な工程です。施工仕様例等を良くお読みの上、十分に注意して行ってください。

2. 塗装(施工)中の注意

- (1) 下地が濡れている場合には、十分に乾燥させてから次の工程に着手してください。
- (2) プライマーの乾燥後、時間を開け過ぎると、上塗り塗料との付着力が低下する場合があります。プライマーとその次の工程までは、同一日に塗装する様をお願いします。
- (3) 塗装中は、換気を良くし、火気の取扱いは厳禁してください。
- (4) 計量、混合攪拌は、はかり及び電動攪拌機を用いて行い、可使時間(ポットライフ)にも十分に注意して塗装してください。
- (5) 塗料を小分けする場合は、必ず小分け前に十分に攪拌し、均一にした後に行ってください。
- (6) 有機溶剤を使用した塗料のため周辺での火気、スパーク、高温物は使用しないでください。
- (7) 静電気対策のため、使用する装置などは接地し、電気機器類は防爆型(安全増型)を使用してください。
- (8) タンク内部の密閉場所で作業する場合には、密閉場所、特に底部まで十分に換気出来る装置を取り付けてください。
- (9) 取扱い中は、出来るだけ皮膚に触れない様にし、必要に応じて適切な保護具を着用してください。

3. 塗装(施工)後の注意

- (1) 湿度が高い時、気温の低い時は乾燥が遅れる場合があります。塗装工程では、常に乾燥状態を確認してから次の工程に入ってください。
- (2) 上塗り可能時間 3時間以上(上塗り製品により異なりますので、ご確認ください。)

4. 塗装面別の注意

- (1) 新設コンクリートは最低4週間以上の養生が必要です。素地コンクリートに水分が多い場合は塗装を避けてください。塗装前に素地面にポリシート(1m²以上)を貼り付け、翌日、素地面が黒くなったり、ポリシート内面に水滴の付着がないことを確認した後塗装してください。(ケツ科学 HI-500型水分計の場合、Dモードで800以下、チャンネル4で4.5~5以下を目安にする)
- (2) 多量の油を含んだ強化コンクリート床面は、塗膜を浸透して、表面に油が出てくる場合があります。
- (3) 強化コンクリートの仕上り、付着している油の種類、汚れの程度など、素地の状態により、塗膜の性能に影響を及ぼす場合がありますので、あらかじめ試験塗装を行い、素地調整や塗装工程が適切かどうかご確認ください。また動植物油を使用している床面に関しましては、必ず事前に当社までご連絡、ご相談ください。

5. 全般的注意

- (1) 製品ご使用の際には、当販促物の他、製品本体添付の注意事項、MSDS(製品安全データシート)、B材の缶に封入しております使用方法を良くお読みください。
- (2) 改良等の為、①製品の中身、仕様 ②販促物の内容等は将来予告なしに変更する場合があります。
- (3) 当販促物に表示してあります塗り面積、工法はあくまでも設計上の標準的な数値です。塗装の際の諸条件によって増減する場合があります。
- (4) 製品本体及び当販促物に記載されている、定められた用途以外には使用しないでください。またご使用方法等につきましてご不明の点がございましたら、必ずご使用前に当社にお問い合わせください。